

「令和５年度自主防災組織等のリーダー育成のための研修会」実施支援事業における
「自主防災組織担当職員向け研修会」（愛知県）

単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)		各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
						詳細	計	
1 限目 災害発生の危険性と避難	1	発災の直前・直後に命を守る<B11>	1	災害時にとるべき行動（全般）<C26>	地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を追った形での行動・対応の流れを学ぶ。	10	50	
			2	避難に関する情報の収集<C27>	気象に関する情報や緊急地震速報、避難勧告等の避難情報を入手する方法、情報の読み方、情報に基づく基本的な行動について学ぶとともに、避難に関する情報を活用するためのスキルを身につける。	20		どのような状況になったら避難判断をし、どのような対応をするか整理。
			3	安全な避難行動<C28>	安全な避難先や避難路の選定方法、避難の方法、地域における避難誘導や避難支援の方法について学ぶとともに、避難行動要支援者を含め、地域住民の安全な避難行動に必要なスキルを身につける。	20		ハザードマップ等を用いて、避難先と避難経路を検討。避難行動上のポイントを整理。
2 限目 被害を最小限とするための取り組みと地域に対する防災知識の普及	1	わがまち（地域）の防災体制をつくる<B8>	1	地域の情報収集・伝達<C20>	災害時に地域で収集・伝達すべき情報の種類や内容、災害時における課題、体制づくりの必要性について学ぶ。	20	45	
			2	要配慮者の地域ぐるみでの支援体制<C22>	要配慮者（高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等）と避難行動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。また、災害時における要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づくりの方法、配慮の方法を整理したマニュアル作成について学ぶ。（避難行動要支援者への避難支援も含む。）	25		どんな人が要配慮者か、避難時にどんなことに困るか、その対応のポイントを整理。

※Zoomミーティングを使用したオンライン研修会のため、グループワークの実施を含んだ標準的なカリキュラムとは所要時間が異なる。